

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公表番号】特表2014-501461(P2014-501461A)

【公表日】平成26年1月20日(2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-003

【出願番号】特願2013-543577(P2013-543577)

【国際特許分類】

H 01 P 1/203 (2006.01)

H 03 H 11/04 (2006.01)

H 03 H 11/48 (2006.01)

【F I】

H 01 P 1/203

H 03 H 11/04 J

H 03 H 11/48 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月10日(2014.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

負荷インピーダンスを用いたアクティブ停止帯域フィルタであって、

送信線により接続されたフィルタ入力及びフィルタ出力と、前記送信線に結合されて線の部分により構成された共振子とを有し、

前記線の部分は、接地に接続された片端と、負荷インピーダンスに接続可能な他端とを有し、

前記共振子と前記負荷インピーダンスとの間に、選択された動作帯域でフィルタリング機能をアクティブ化する手段を有するアクティブ停止帯域フィルタ。

【請求項2】

前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記共振子の片端と前記負荷インピーダンスとの間に位置するスイッチにより実現される、請求項1に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項3】

前記負荷インピーダンスは、コンデンサ、バラクタダイオード又はアクティブコンデンサを模擬する負抵抗回路の中から選択される、請求項1に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項4】

前記負荷インピーダンスがパッシブコンデンサである場合、前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記共振子の片端と前記パッシブコンデンサとの間に位置するPINダイオードにより実現される、請求項1に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項5】

前記負荷インピーダンスがアクティブコンデンサである場合、前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記アクティブコンデンサを実現可能にするトランジスタの供給電圧により実現される、請求項1に記載の停止帯域フィルタ。